



2019年2月26日
東日本旅客鉄道株式会社
東京支社

品川駅のお乗り換え利便性向上と混雑緩和及びバリアフリールート of 拡充に取り組みます

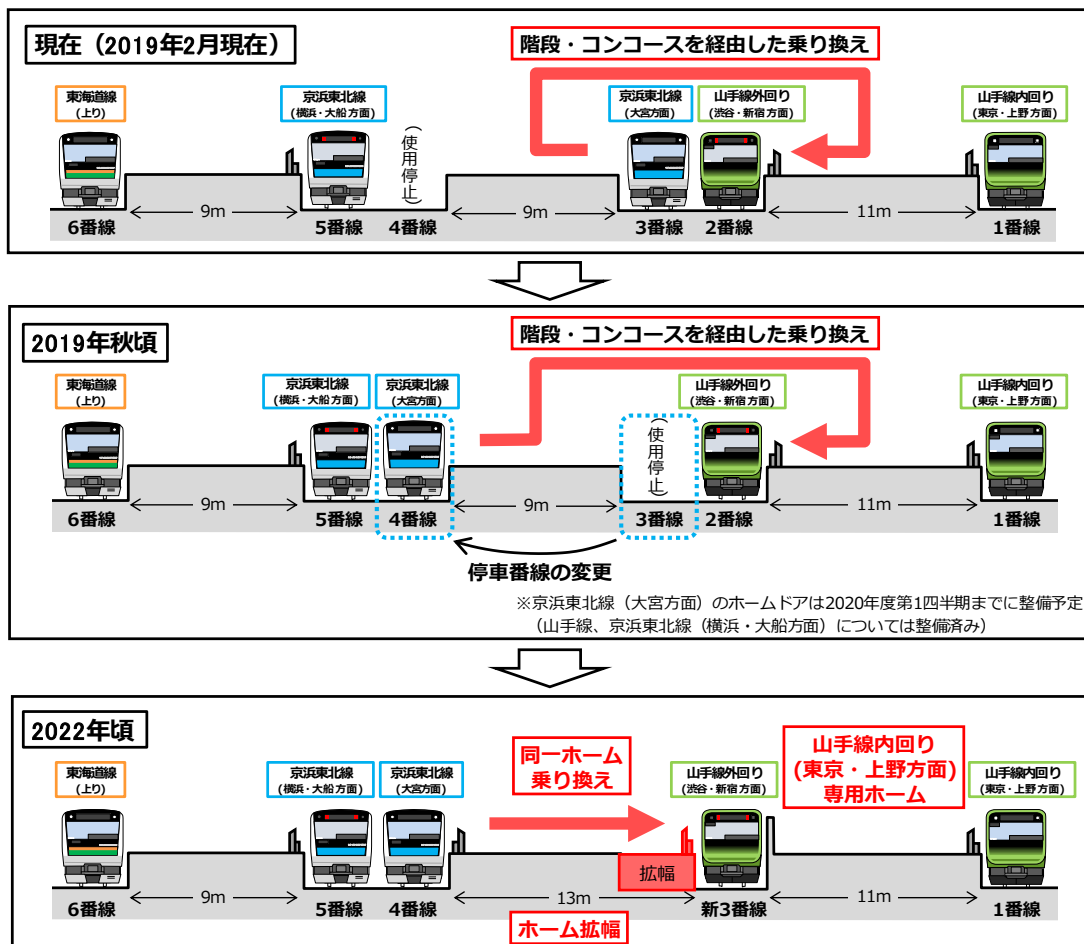
品川駅は、JR東日本管内で乗車人員が5番目のターミナル駅で、通勤・通学時間帯には北側コンコース・自由通路が混雑しており、また山手線外回り(渋谷・新宿方面)と京浜東北線(大宮方面)をお乗り換えいただく際はホームが別のため、階段・コンコースを経由するお乗り換えが必要となっています。

今後、同駅周辺の開発やお乗り換えのお客さまの増加が見込まれることから、お乗り換えの利便性の向上やコンコース・自由通路の混雑緩和などの取り組みを実施し、より快適で安心してご利用いただける駅づくりを目指します。

1. 京浜東北線(大宮方面)から山手線外回り(渋谷・新宿方面)へ同じホームでお乗り換えいただけるようになります。(2022年頃)

- (1) 京浜東北線の線路の切換工事を実施し、京浜東北線(大宮方面)の停車番線を3番線から4番線に変更を行います。(2019年秋頃)
- (2) 3・4番線のホームの拡幅(9m→13m)を行い、京浜東北線(大宮方面)と山手線外回り(渋谷・新宿方面)が同じホーム上でお乗り換えいただけるようになります。(2022年頃)
- (3) 1番線のホームを山手線内回り(東京・上野方面)の専用ホームとします。(2022年頃)

山手線・京浜東北線のホーム改良ステップ図



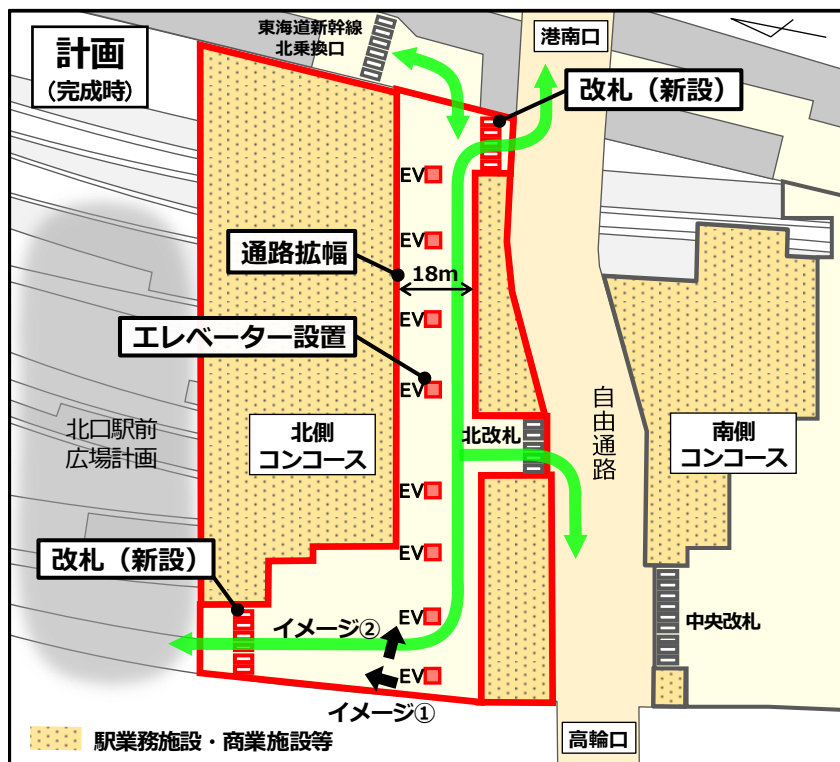
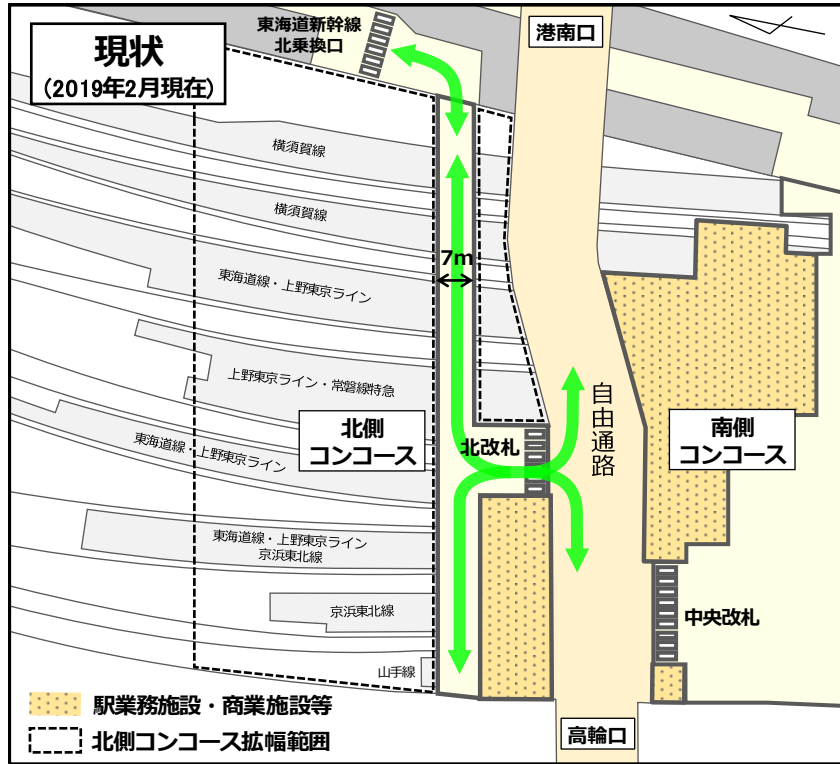
2. 改札口の新設及び通路の拡幅による混雑緩和やバリアフリールートの拡充等を図ります。

(2027年以降順次)

(1) 北側コンコース内に改札口を新たに2ヶ所設置するとともに、通路を拡幅(7m→18m)し、コンコース・自由通路の混雑緩和を図るとともに、北側コンコースから港南口への移動時間の短縮も図ります。

(2) バリアフリールートの拡充のために北側コンコースと各ホームを接続するエレベーターを8ヶ所増設します。また、商業施設等の整備を行います。

北側コンコースの改良概要図



北側コンコースのイメージ図

イメージ①:改札(新設)



イメージ②:コンコース内の通路



※現時点でのイメージであり、実際と異なる場合があります。